

患者会支援活動に向けての取り組み

—山梨県内におけるオストメイト対応トイレの設置状況と課題—

患者会支援活動に向けての取り組み
—山梨県内におけるオストメイト対応トイレ設置状況と課題—

研究代表者

遠藤 みどり (山梨県立大学 看護学部)

分担研究者

松下 由美子 (山梨県立大学 看護学部)

簗持 知恵子 (山梨県立大学 看護学部)

中込 洋美 (山梨県立大学 看護学部)

井川 由貴 (山梨県立大学 看護学部)

武藤 弥生 (山梨県立大学 看護学部)

梶原 睦子 (アルケア株式会社 学術グループ)

志村 友紀 (山梨県立中央病院)

後藤 茂美 (荒川訪問看護ステーション)

研究協力 加藤 和育、舟久保達男、前田 尚子、堀之内寿々子
(患者会：日本オストミー協会山梨県支部)

目 次

I.はじめに.....	1
II.研究目的.....	2
III.研究方法.....	2
1. 研究期間.....	2
2. 研究デザイン.....	2
3. 調査方法.....	2
4. 分析方法.....	5
5. 倫理的配慮.....	5
IV. 結果.....	6
1. 第一次調査結果.....	6
2. 第二次調査結果.....	12
3. まとめ.....	40
4. オストメイトトイレマップ.....	41
V. おわりに.....	42
謝辞.....	42
文献.....	42
資料	
1. オストメイトのトイレ使用に関する質問紙調査票	
2. オストメイト対応トイレの設備・備品等に関するオストメイトの主観的評価票	

I. はじめに

近年、食生活（高脂肪、高蛋白、低繊維食）の変化により大腸癌に罹患する人の割合が高くなっている。大腸癌や膀胱癌などが原因で臓器に機能障害を生じた人の多くは、手術療法によって腹部にストーマ（排泄口）を造設し、排泄物を受けるための使い捨て袋を常時、装着し生活しなければならない状況にある。

手術によってストーマを造設した人（オストメイトと称す）は、国内に約 20 万人前後、年間 4 万人増加すると報告されており、山梨県内には約 900 人以上と推定され身体障害者として地域で生活している。また全国調査（第 5 回 オストメイト生活実態基本調査報告,2006）では、オストメイトの平均年齢は 70.8 歳で、全体の 8 割以上が 70 歳以上の高齢者であり、本県においても同様な傾向にある。

昭和 40 年代にオストメイトのための障害者団体として日本オストミー協会（厚生労働省認可の社団法人）が発足され、本県でも昭和 44 年に日本オストミー協会山梨県支部が発足し、現在約 50 人が加入している。

福祉制度や施策の進展、ストーマ用品の改良、知識の啓蒙や普及などオストメイトを支える環境が整備されてきているが、オストメイトのノーマライゼーションには、未だ多くの問題も残されている。なかでもオストメイトが抱える悩みに、『通常のトイレでは、廃棄や洗浄する場所が十分な状況ではない』ことや、災害時の避難所生活で生じるバリアフリーの問題があげられている。

日本オストミー協会は、オストメイトが外出時の排泄のトラブルに対し、いつでも対処できる場所を確保し安心して外出できるオストメイト対応トイレ設置を強く要望してきた。

そのような情勢の中で、オストメイト対応トイレは 1998 年に千葉県に設置された以降、交通バリアフリー法の改正や各自治体の努力による「まちづくり条例」内での義務づけ等により現在 2,289 箇所(2006 年調査)に設置され、高速道路におけるサービスエリアにおいても全国的に整備が完了している（2006 年高速道路関連社会貢献協議会）。また JR 東日本では東京首都圏において 105 駅に設置している(2005 年日本オストミー協会調査)と報告されている。山梨県においても 2007 年から障害者自立支援法円滑施行特別対策における新法への移行等のための緊急的な経過措置の一環で 2008 年度に『オストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)対応トイレ整備緊急整備事業が施行される予定になっている。

しかし、これまで山梨県においては、JR 東日本では上野原駅、猿橋駅、石和温泉駅、甲府駅、韮崎駅の 5 駅、中央道サービスエリアでは談合坂 SA、双葉 SA、石川 SA の 3 箇所に設置されていることが明らかになっているだけであり、他の公共施設や医療機関、ショッピングセンターや美術館、イベント会場等に設置されているか実態が明らかになっていない。このことは、多くのオストメイトの地域参加・活動が拡大できない原因にも繋がっているのではないかと考えた。

そこで、本研究においては、オストメイト対応トイレを利用するオストメイトが、トイレ活用についてどのように感じているか、何を要望しているかを調査するとともに、本県

におけるオストメイト専用（あるいは対応）トイレ設置状況の実態を把握し、山梨県におけるオストメイトの生活支援のための基礎資料を得ることを目的とした。

II. 研究目的

山梨県におけるオストメイトのトイレ利用に関するニーズおよび山梨県内の公共施設ならびに利用度の高い施設でのオストメイト対応トイレの設置状況の実態を明らかにする。

III. 研究の方法

1. 研究期間：平成 19 年 6 月～20 年 3 月

2. 研究デザイン：実態調査研究

3. 調査方法：

第一次調査：質問紙法(留置き)によるトイレ使用に関する調査（資料 1）

調査対象者：日本オストミー協会山梨県支部の会員で研修会に参加した約 20 名

調査期間：平成 19 年 10 月～11 月

第二次調査：現地調査

調査対象施設：公共施設を中心とした 16 施設 18 箇所および電話で確認した約 200 施設

調査期間：平成 19 年 10 月 19 日～平成 20 年 1 月 31 日

1) 第一次調査の内容と方法

- ①日本オストミー協会山梨県支部の支部長に本研究の目的・内容および方法について文書と口頭で説明し、調査協力への同意を得た。
- ②支部長を介して、支部研修会に参加したオストメイトに研究協力の依頼をお願いし、調査票を配布して頂いた。調査票は無記名とし回答をもって同意とみなした。また本研究への協力は自由意志に基づくものであり、同意しないことによる不利益はないことも合わせて説明して頂いた。
- ③調査票の回収は約 2 週間の留め置きした後に、支部長経由で一括して頂いた。
- ④調査内容は、基本属性、ストーマの種類、装具の交換時期、外出頻度、外出時の持参用具、公共トイレ内設備の要望等であった。

2) 第二次調査の内容と方法

(1) 調査内容

①におい

悪臭は、個人差があるものの人に与える不快感は大きい。トイレのにおいの原因として、床や便座等に付着した排泄物のにおいや、配管や換気の不具合、トイレ使用中に

発生したにおい、においの強い消臭剤などが考えられる。

外出したオストメイトが、装具交換や排泄物の処理をするために利用する公共のトイレが、快適な環境であるかを知るために、以下の測定用具を用いてにおいに関する調査を行った。

a.臭気指数

ニオイセンサー（XP-329Ⅲ 新コスモス電機）を用い、トイレ内（入り口、便座付近、洗浄台が設置されている場合には洗浄台前）2～3カ所の臭気指数測定を行った。ニオイセンサーでは、においの種類・質を識別することはできないが、測定対象のにおいの強弱を相対的に数値化できるといわれており（0～2000の数値で表示）、数値が高いほど強いにおいである。

b.6段階臭気強度表示法

6段階臭気強度表示法は、においの強さを表す尺度で、悪臭防止法においては本表示法による臭気強度を基本的な尺度としている。臭気強度の内容は「0：無臭、1：やっと感知できるにおい、2：何のにおいかわかる弱いにおい、3：楽に感知できるにおい、4：強いにおい、5：強烈なにおい」で表現されている。

c.快・不快感表示法

「臭気」に対して感じる生理心理的な快・不快感を加味して数値化する方法で、認容性表示法または嫌悪性表示法ともいわれており、日本においては9段階快・不快感表示法が広く使われている。

悪臭の数値化方法のなかでは、被害の実態を比較的表現しやすいという点で、重要でかつ基本的な評価尺度であると言われている。快・不快感表示法は、「+4：極端に快、+3：非常に快、+2：快、+1：やや快、0：快でも不快でもない、-1：やや不快、-2：不快、-3：非常に不快、-4：極端に不快」の9段階で評価される。

②照度

一般的に労働者が就業する際の作業面の照度について作業区分による基準は、精密な作業では300Lux以上、普通の作業では150Lux以上、粗な作業では70Luxが必要であるといわれている。またJISにおける照度の推奨値によると、トイレの照度は美術館・博物館では150～300Lux、病院では75～150Luxとされている。

オストメイトは、ストーマ装具交換の際、面板を腹部に貼付する、便の廃棄など、処理をする際に適度な明るさを必要とする。そこでデジタル照度計（ライン精機株式会社EL-1000）を用い、トイレ内の照度を測定した。測定場所は、トイレの入り口と、オストメイトが実際に排泄処理を行う便座付近、洗浄台が設置されている場合には洗浄台前で測定した。

③設備・備品

社団法人 日本オストミー協会によると、オストメイト対応トイレに必要な設備の要望として、汚物流し台（用途：腹部の清拭・洗浄、ストーマ装具の交換・装着、衣類・使用済みストーマ装具の洗浄）、カウンター（用途：ストーマ装具・用品などを置くスペースと装着・交換のための作業台）、ダブルフック（用途：小物入れ用）、化粧鏡（用途：ストーマ装具の装着用など）、汚物入れボックス（用途：使用済みストーマ装具の廃棄など）、衣類・手荷物用フック、収納式着替え台（用途：服の着替え用）の7項目が挙げられている。

本調査ではオストメイトが使用するトイレに、汚物流し台、ハンドシャワー、フック、カウンターおよび飾り棚、化粧鏡、汚物入れボックス、収納式着替え台の他に、手すり、緊急呼出しコール、エアータオル、石鹸、換気扇、芳香剤が設置されているかを確認した。

④案内表示(案内図記号)

オストメイトがトイレを利用するにあたり、トイレの場所がわかりやすく説明されているかについて、表示マーク（オストメイトマーク）の有無、案内の表示場所について調査した。

⑤オストメイト対応トイレの設備全体に関する主観的評価（資料2）

調査対象施設のうち7施設については、オストメイト2～3名が現地に同行し、トイレの広さや明るさ、清潔感、分かりやすい場所にあるか等の全体の評価、汚物流し台、ハンドシャワー、フック、カウンター、鏡等の設備・備品の使いやすさについて4段階（そう思う、ややそう思う、あまりそう思わない、そう思わない）の評価を行った。

(2) 調査手順

- ①オストメイトを含め研究者間で「オストメイト専用（または対応）トイレ」の基準等(日本オストミー協会オストメイト対応トイレ設備に関する基本要件)を確認し、オストメイト対応トイレに必要な設備のリストアップを行った。またインターネットでの検索情報もリスト作成の資料とした。
- ②平成20年度オストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)対応トイレ設備緊急事業整備事業に関する情報収集のために山梨県福祉保健部障害福祉課担当者から説明を受け、県内の公共施設の対応トイレ設置状況(予定箇所を含める)の情報収集を行った。また、障害福祉課への情報授受について確認した。
- ③オストメイト対応トイレの設置場所の現地調査を行うにあたり、調査内容や調査方法について共同研究者間で十分に協議し、調査票や計測機器の準備を行った。
- ④リストアップした施設に関して、県立の公共施設については障害福祉課の担当者か

ら事前に内諾をとって頂き、営利目的での施設に関しては研究者が直接に、研究目的・方法等を電話で内諾を得たのち、現地調査時に施設管理者の立ち会いのもとで調査を実施した。

- ⑤現地調査は1施設あたりの調査時間は60分以内を目安に患者会のオストメイト2~3名と大学関係者2~3名を編成し実施した。実施においては設備・構造等が視覚的・イメージできるように施設担当者の許可を得た上でデジタルカメラやビデオカメラで撮影しデータの一部とした。

現地調査はまず嗅覚測定から開始した。測定にあたり室内の臭気が換気されないよう、同一の測定者2名が調査開始時にトイレに入り、入り口のドアを閉めた状態で嗅覚測定を行った。トイレ入室後直ぐにドアを閉め、ニオイセンサーによる臭気指数、6段階臭気強度表示法、快・不快度表示法による評価を実施した。その後、照度測定、室内の設備・備品の確認と計測、トイレ案内表示の確認を行った。設備、構造、寸法、照度や臭気などを測定するとともに、使用感や問題点などオストメイトの主観的評価も併せて調査した。

4. 分析方法

第一次調査のオストメイトのトイレ使用に関する調査で得られたデータについて単純集計し、調査項目に沿って、人数と割合(%)を算出した。自由記述については、内容を集約した。また第二次調査から得られたオストメイト対応トイレ設置施設の設備・備品は、設備・備品等の有無とその規格などをまとめた。さらに、現地調査に同行したオストメイトのトイレ使用に関する主観的評価のデータは、集約して記した。

5. 倫理的配慮

第一次調査においては、日本オストミー協会山梨県支部の支部長を介して、研究の趣旨、協力への自由意志、個人情報への守秘、匿名性の保持等を文書と口頭で説明して頂き、また公表する旨も伝えて頂き、回答をもって調査への同意とみなしデータを使用した。第二次調査においては、公共施設のうち、県の管轄施設については山梨県福祉保健部障害福祉課の担当者から施設管理者に内諾を得て頂き、またそれ以外の施設には研究者が直接電話連絡し内諾を得た後、研究者が現地での調査実施前に文書と口頭で、研究の趣旨、内容と方法および公表する旨を説明し、同意が得られた場合のみデータとして取り扱った。

IV. 結果

1. 第一次調査結果：

(日本オストミー協会山梨県支部会員オストメイトのトイレ使用に関する質問紙調査)

1) 対象者の概要

対象者は、10名全員男性であった(表1)。年齢は、55歳から90歳(表2)、ストーマの種類は、人工肛門が9名で人工膀胱が1名(表3)。保有歴は、5年未満が5人と半数であるが、残り5名は10年から25年間の幅広い結果であった(表4)。使用装具は単品系、2品系がそれぞれ4名で両方使い分けている人も2名いた(表5)。装具交換頻度は、3日に1回が一番多かったが、「毎日」から「5日に1回」にまで分布しており(表6)、装具の種類に応じて交換していると考えられた。外出頻度は、1回以下は一人で、3～4回が最も多く(表7)、患者会会合に参加することから考えても比較的社会的交流が保たれている人たちであるといえる。

2) 外出時の交換用具の持参

外出時に交換用装具を持参するかについては、9人が持参すると答えていた(表8)。持参する物品の中で装具の次に多いのは、ナイロン袋であり、これは自宅に持ち帰り廃棄するためのものと考えられた。ほとんどの病院では、持ち帰るように退院指導を行っているため、公衆トイレや外出先で仮に汚物入れがあったとしても実際には使われてはいない場合が多いと考えられる。清浄剤や布というのは、面板交換までする場合を想定してのことであろうが、さほど人数が多くなかった(表9)ので、単品系であっても外出先では排泄口から排出するだけにとどめる場合が多いのであろう。

3) 専用マークの認知度

マーク自体を知らないと答えている人が6人おり、オストミー協会会員であってもその認知は高くないことがわかった。残りの4名は、知っているが使ったことはないということであり(表10)、オストミー専用トイレはほとんど使われていないというのが現状であろう。これは、設置個所がまだまだ少ないということにも関連すると思われる。今後マークの意味や設置個所について積極的に情報提供する必要がある。

4) 必要な設備

8項目の設備そのものがあらかじめ必要性の高いものを想定した項目であったため、「絶対必要」「できれば必要」を合わせると、7割以上の人が必要であると回答していた(表11)。相対的には鏡の必要性が一番低かったが、これは、自宅で実際に装具交換するときには、鏡を用いていないことなどによると思われる。ついでハンドシャワーも同様に低いが、これは面板交換する場合や装具自体を洗浄する場合のみ必要になるためであると考えられた。現在、病院では装具はディスポと説明し洗浄しての再使用(単品系なら

ば、排泄口からお湯をいれて袋部分をあらう、2品系ならば、袋をばずして洗って再度面板に装着する)は指導していないが、オストメイトの中には、洗浄している人もいる。今回、装具を洗浄しているか否かを確認すべきであった。また、「公共トイレで困ったこと・気を使うこと」への自由記載に「健常者に不快感を与えるのではないか」「処理したあとのにおいが気になる」との意見があったことから、換気に関する不安が高いと考える。これは、今回のアンケートだけではなく、オストメイトからよく相談される内容であるので今回の項目に入っていなかったが効果的な換気の設備は必須であろう。また設置を希望する場所として、駅、スーパー、病院、公共施設などがあげられていた。

5) まとめ

日本オストミー協会山梨県支部会員10名の男性からトイレ使用に関する調査結果を得た。10名の人は患者会会合に参加することから考えても比較的社会的交流は保たれている人たちで、外出も行われていた。人数は少ないが、ある程度オストメイトの意見を網羅していると考えてよいと思われる。

外出時には交換用装具を9人が持参していたが、持参する物品で多いのは、ナイロン袋であり、これは自宅に持ち帰り廃棄するためのものと考えられるため、今後公共トイレに汚物入れが備え付けてあったとしても実際には使われない可能性が多いと考えられる。また、ストーマ用品は“不燃物”として扱われる場合が多いので、もし装具を廃棄する容器であれば“汚物入れ”という名称でなく、使用済みのストーマ装具を廃棄してよい旨を明記する必要がある。

トイレに必要な設備としては、アンケートにあげた項目はすべて必要と考えられたがこれらに追加して、排泄物の処理に伴うおいの換気に関する配慮が重要である。換気扇の設備と同時に、室内消臭スプレーの設置などが必要かもしれない。今回は男性のみの回答であったが、女性の意見がはいっていたら、もっと換気に対する要望は多かったと推測できる。

設置を希望する場所としては、駅、スーパー、病院、公共施設などがあげられていた。しかし一方でマーク自体を知らないと答えている人が6人おり、オストミー協会の会員であってもその認知は高くないことがわかった。今後はパンフレットその他を使ってマークの意味や公共施設などの設置箇所について積極的に情報提供する必要がある。

第一次調査結果：日本オストミー協会山梨県支部会員のオストメイトによるトイレ使用に関する調査結果

表 1. 対象者の性別について

性別	人数(人)	割合(%)
男性	10	100.0
女性	0	0.0

表 2. 対象者の年齢について

年齢(才)	人数(人)
55-59	1
60-64	1
65-69	3
70-74	1
75-79	2
80-84	1
85-90	1

n=10

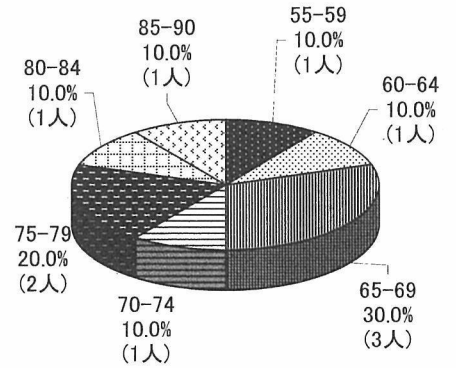


表 3. ストーマの種類

ストーマの種類	人数(人)
人工肛門	9
人工膀胱	1

n=10

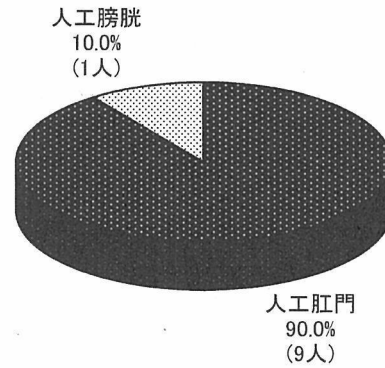


表 4. ストーマ暦

ストーマ暦(年)	人数(人)
<5	5
5-10	2
10-15	1
15-20	1
20-25	1

n=10

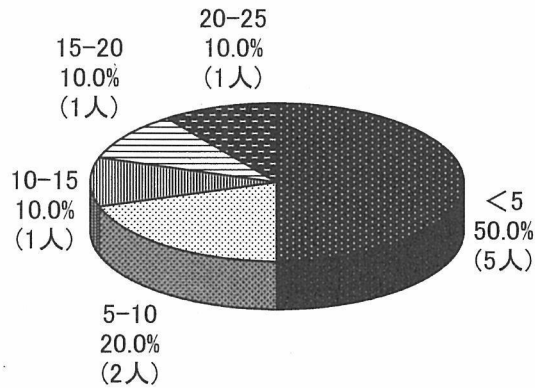


表 5. 現在使用している装具

装具の種類	人数(人)
ワンピース	3
ツーピース	4
両方	2
Aパック	1

n=10

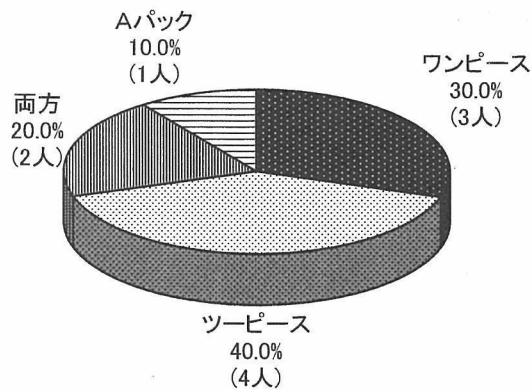


表 6. 装具の交換頻度

交換間隔	人数(人)
毎日	2
2日に1回	1
3日に1回	3
4日に1回	1
5日に1回	2
未回答	1
n=10	

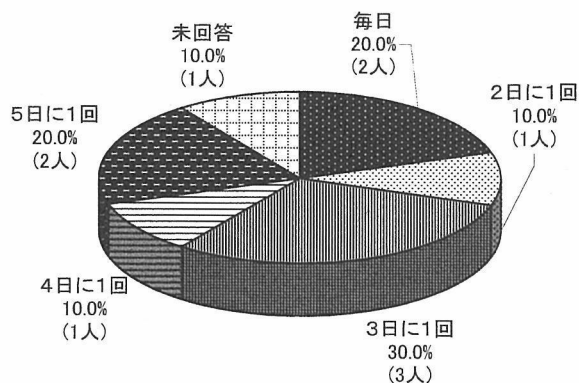


表 7. 現在、一週間の外出頻度

一週間の外出頻度	人数(人)
1回以下	1
1~2回	1
2~3回	1
3~4回	4
5~6回	1
7回以上	2
n=10	

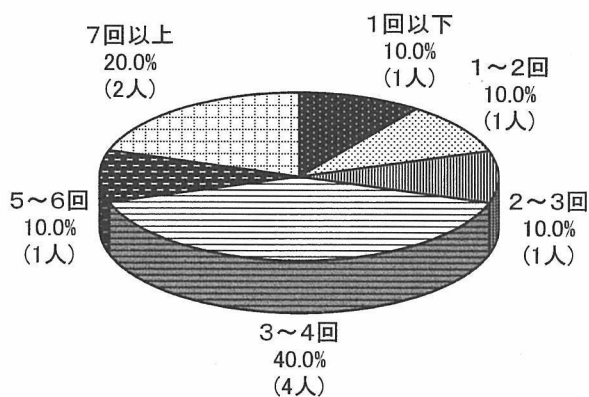


表 8. 外出時の交換用装具の持参の有無

持参の有無	人数(人)
持参している	9
持参していない	1
n=10	

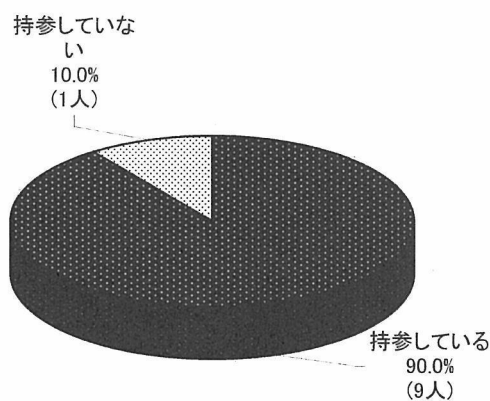
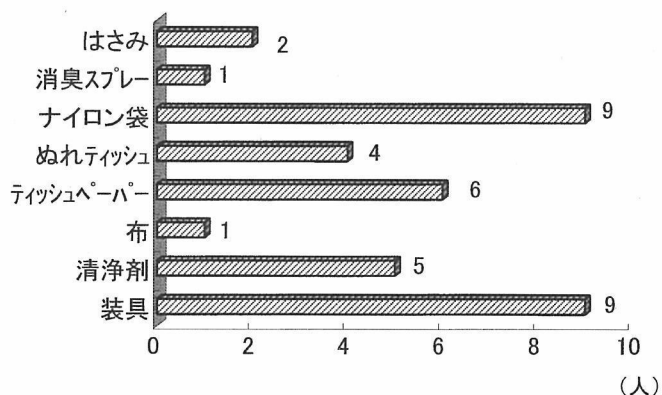


表 9. 持参物品の内訳

持参する物	人数(人)
装具	9
清浄剤	5
布	1
ティッシュペーパー	6
ぬれティッシュ	4
ナイロン袋	9
消臭スプレー	1
はさみ	2
(複数回答)	



*持参しない理由について

- ・短時間の外出のため・・・1人

表 10. 「オストメイト専用のトイレマーク」の認知度

項目	人数(人)
知っているが 実際に使った ことはない	4
知らなかった	6
n=10	

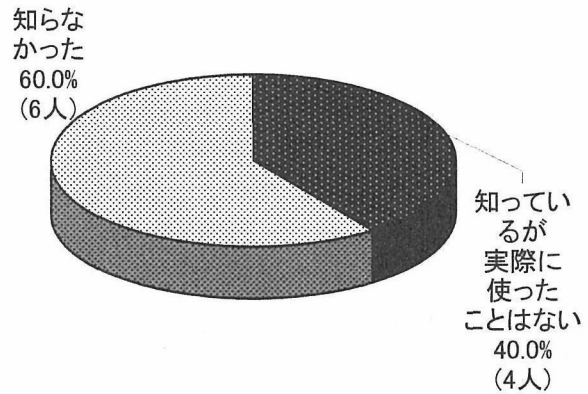
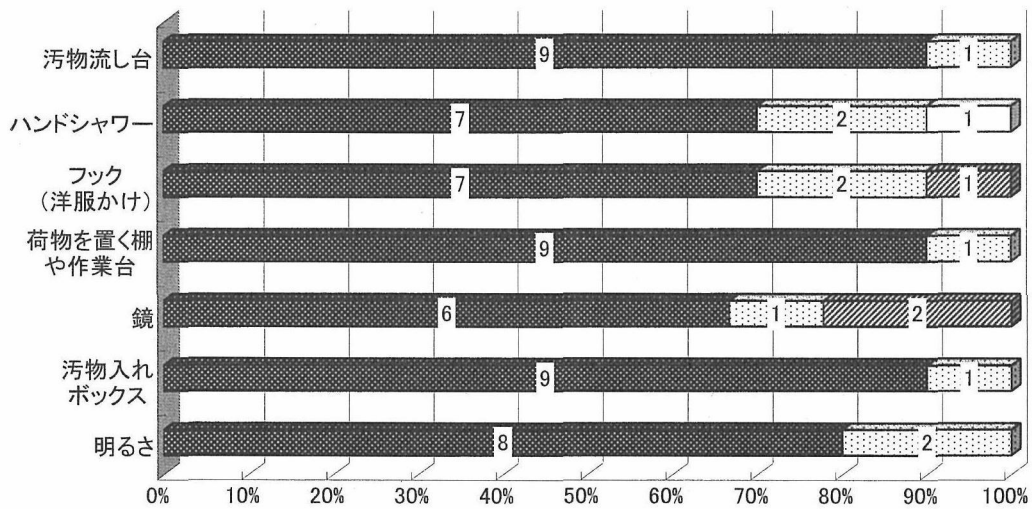


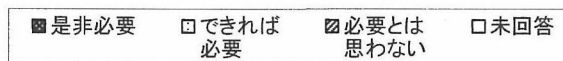
表 11. 公共トイレ内設備の必要性について

	(人)			
	是非必要	できれば 必要	必要とは思わない	未回答
汚物流し台	9	1		
ハンドシャワー	7	2		1
フック (洋服かけ)	7	2	1	
荷物を置く棚 や作業台	9	1		
鏡	6	1	2	
汚物入れ ボックス	9	1		
明るさ	8	2		

(複数回答)



(* 数字は人数)



- * 公共トイレ内設備でその他、必要と思われるもの
 - ・椅子(1)

- * 公共トイレで困ったこと、気を使うこと
 - ・健常者に不快感を与えるのではないか
 - ・処理した後の臭いが気になる
 - ・オストメイト用トイレ
 - ・汚物流し台、ハンドシャワー、フック、荷物を置く棚や作業台、鏡、汚物入れボックス、明るさすべて

- * オストメイト用トイレを設置して欲しい場所
 - ・図書館、駅(2)等
 - ・地元のスーパー
 - ・病院、公共施設(2)

2. 第二次調査結果（現地調査結果）

調査への同意が得られた 16 施設 18 箇所を調査対象とした。調査対象となった施設は、全てオストメイト対応トイレであった。その他、約 200 箇所について電話での聞き取りを行ったが、本調査において 16 施設以外に設置されている施設はなかった。

現地での調査は、10 時頃から 16 時頃までの間に実施した。調査当日の天候は、曇あるいは晴れであった。

現地調査した 16 施設について施設情報の一覧を表 12-1)、表 12-2)にまとめ、施設の設備・備品の一覧を表 13 としてまとめた。また、各施設のトイレ概要について p17～37 にまとめた。

1) トイレの設置階

調査対象施設トイレのうち 16 施設は、トイレが 1 階に設置されていた。JR 猿橋駅では改札が 2 階にあり、トイレは同じフロアに設置されていた。

2) 案内用図記号

調査対象の施設のうち、オストメイトが利用できるトイレはすべて多目的トイレであった。案内用図記号（マーク）にオストメイトマークが使用されていたのは 16 施設で、3 施設はシンボルマークが車椅子マークであった。車椅子マークが表示されている 1 施設は、今後、オストメイトマークを表示する予定である。

調査対象の施設は、すべてトイレの入り口の壁面あるいはトイレのドアにオストメイトマークあるいは車椅子マークが表示されていた。このうち 12 施設では、トイレの入り口あるいは壁面以外に、通路やロビーにオストメイトが利用できるトイレであることの案内が表示されていた。

3) 照度測定

調査対象の施設のトイレ内には、1～4 カ所に照明が設置されていた。また 18 施設のうち 3 施設のトイレには窓が設置されていた。入り口の照度は、70～518Lux、洗浄台前が 109～523Lux、便座付近が 110～523Lux であり、施設間の照度測定の結果には差があるが、粗な作業には支障がないと言える。しかし利用者が高齢である場合には、身体機能の低下に伴い高い照度が求められる施設もあった。

4) 嗅覚測定

すべての施設のトイレは、換気扇あるいは換気システムにより室内の換気が行われていた。

ニオイセンサーを用いて測定した臭気指数は、入り口が 0～292、汚物流し台では 0～235、便座は 0～244 であった。このうち 1 施設のトイレの臭気指数は 0～1 であった。また 2 施

設では 146～292 と高値を示していた。ニオイセンサーではにおいの種類・質は特定できないため、高値を示していた施設のトイレのにおいが悪臭とは言えないが、何らかのにおいが生じていたと考えられる。

6 段階臭気強度表示法による測定結果は、0（無臭）～3（楽に感知できるにおい）であった。9 段階快・不快度表示法による測定結果は、0（快でも不快でもない）～-2（不快）であった。6 段階臭気強度表示法が 1（やっと感知できるにおい）～3（楽に感知できるにおい）であった施設、および快・不快度表示法が-1（やや不快）～-2（不快）であった施設では、芳香剤の強いにおいや、煙草の吸い殻によるにおいであり、排泄物のにおいを感じることはなかった。

5) 設備・備品

調査対象となった 16 施設 18 箇所のトイレ内において、汚物流し台が設置されていたのは 14 施設で、ハンドシャワーが設置されている施設は 13 施設であった。汚物流し台は設置されていないがハンドシャワーがある施設は 2 施設で、便座の近くにハンドシャワーが設置され、便座に座って腹部が洗浄できるよう設備されていた。また 3 施設は、汚物流し台はあるがハンドシャワーではなく、水道が利用できるようになっていた。JR3 駅のオストメイト対応トイレは、既存の便座に後付けできる「パウチ・しびん洗浄水栓」が設置され、使用方法が掲示されていた。

洋服やバッグをかけるためのフックは 14 施設に設置されており、設置されている数は 1～4 個であった。ストーマ装具を置き作業するためのカウンターは、5 施設に設置されており、また飾り棚がある施設は 11 施設であった。カウンター、飾り棚が共に設置されていないのは 3 施設であった。このうち 1 施設は、ダストボックスが箱状であり、ダストボックスの上に物品を置くことが可能であった。化粧鏡は 17 施設に設置され、上半身が映るように配置されているが、このうち腹部がよりわかりやすいように傾斜している鏡が設備されている施設は 3 カ所であった。

調査対象の 18 箇所のトイレは、すべて車椅子が利用できる広い空間で、便座付近には L 字型や折りたたみ式の手すりが設置されていた。また 15 施設が、トイレの利用者が緊急時に通報するシステムとして、緊急呼出しコールを設置していた。備品として、15 施設が手洗い用の石鹸を設置しており、5 施設がエアータオルを設置していた。2 施設は、ペーパータオルを置いていた。

備品として、使用した装具を廃棄するための汚物入れボックスは 15 施設に設置されていた。このうち蓋付きボックスを設置している施設は 12 カ所で、ペダル開閉式、スイング式、取っ手を掴み開ける 3 タイプの蓋であった。芳香剤は 3 施設に設置されていた。服の着替え用の折りたたみ台（フィッティングボード）は 3 施設に、折りたたみベッドは 3 施設に設置されていた。

表12-1) 施設情報一覧

	時間	天候	トイレの設置階	トイレ内窓の有無	トイレの案内表示	案内表示		照度			臭気				
						表示されている場所①	表示されている場所②	照度(入り口)	照度(ハンドシャワー)	照度(便座)	におい(入り口)	におい(ハンドシャワー)	におい(便座)	6段階臭気強度表示法	9段階快不快表示法
県立中央病院	14:45	曇り	1	○	○	トイレ入り口の壁面	外来通路	220	220	260	292	146	178	未測定	未測定
県立博物館	15:45	晴れ	1	—	○	トイレ入り口の壁面	通路	210	257	315	39	44	42	0	0
県立美術館	10:10	晴れ	1	—	—	トイレ入り口の壁面	ロビー	410	240	400	68	75	70	1	0
県民文化ホール	11:00	晴れ	1	—	○	トイレのドア		170	140	170	139	136	137	0	0
甲府市役所	15:45	曇り	1	—	○	トイレのドア		90	110	110	未測定	未測定	未測定	未測定	未測定
医療法人康麗会 笛吹中央病院	16:15	晴れ	1	—	○	トイレ入り口の壁面	通路	254	240	240	227	235	244	2	0
上野原市役所(もみじホール)	10:45	晴れ	1	—	○	トイレのドア	通路	300	—	270	90	—	96	2	-1
都留市立病院	13:30	晴れ	1	—	○	トイレのドア		518	523	523	22	26	24	1	0
都留市役所	14:05	晴れ	1	○	○	トイレのドア	ロビー	70	320	420	51	53	55	3	-1
都留いきいきプラザ	15:00	晴れ	1	—	○	トイレ入り口の壁面	通路	410	260	450	59	54	53	0	0
JR石和温泉駅	15:00	晴れ	1	—	○	トイレのドア		86	未測定	200	5	未測定	22	0	0
JR上野原	11:15	晴れ	1	—	○	トイレ入り口の壁面		251	208	140	2	2	7	3	-2
JR猿橋	12:50	晴れ	2	—	○	トイレのドア		380	未測定	280	0	未測定	5	1	-1
談合坂SA(上り)東	9:55	晴れ	1	—	○	トイレのドア	トイレ入り口の壁面	220	220	220	0	0	1	0	0
談合坂SA(下り)東	11:45	晴れ	1	—	○	トイレ入り口の壁面	通路	115	109		52	43	53	1	0
談合坂SA(下り)多目的	12:00	晴れ	1	—	○	トイレ入り口の壁面		690	360	600	0	0	0	1	-1

表12-2) 施設情報一覧

	時間	天候	トイレの設置階	トイレ内窓の有無	トイレの案内表示	案内表示			照度			臭気			
						トイレの案内表示	表示されている場所 ①	表示されている場所 ②	照度(入り口)	照度(ハンドシャワー)	照度(便座)	におい(入り口)	におい(ハンドシャワー)	におい(便座)	6段階臭気強度表示法
山梨トヨペット(竜王店)	13:45	曇り	1	○	○	トイレのドア	通路	700	700	750	26	40	38	2	0~-1
アピタ石和店(1階北)	15:00	晴れ	1	-	○	トイレのドア	通路	120	170	140	115	20	60	1	0

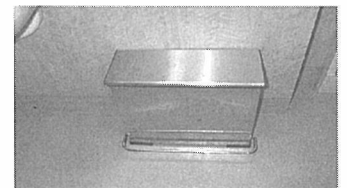
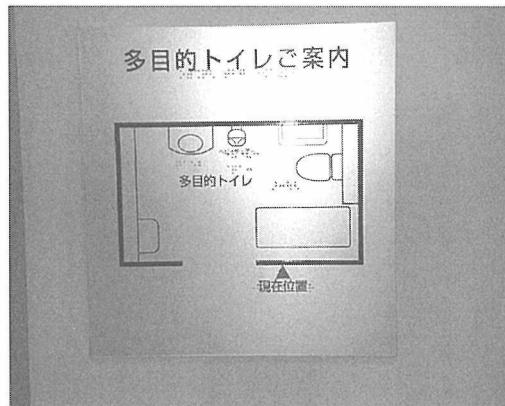
表13 オストメイトトイレ設置施設の設備・備品一覧

	環境						設備										備品							
	マーク	入り口	窓	暖房	汚物 流し台	ハンドシャワー	フック		カウンター		飾り棚		鏡	照明	手すり		緊急 コール	エア－ タオル	汚物入れ		備品		その他	
	多目的 オストメイ ト	自動	有無	有無	有無	設置位置 (便座か らみて)	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	有無	その他	
県立中央病院	♿	○	○	○	○	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	その他
県立博物館	♿	○	×	○	○	右	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	その他
県立美術館	♿	○	×	○	○	正面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	折りたたみベッド
県民文化ホール	♿	○	×	○	○	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
甲府市役所	♿	○	×	○	○	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
笛吹中央病院	♿	○	×	○	○	右	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	消毒用アルコール、 ペーパータオル
上野原市役所 (もみじホール)	♿	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
都留市立病院	♿	○	×	○	○	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
都留市役所	♿	○	○	○	○	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
都留いきいき プラザ	♿	○	×	○	○	正面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	折りたたみベッド
JR石和温泉駅	♿	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	パウチ・しびん洗浄 機能付き便座
JR上野原	♿	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	パウチ・しびん洗浄 機能付き便座
JR猿橋	♿	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	足元荷物置き場 パウチ・しびん洗浄 機能付き便座
談合坂SA(下り) 多目的	♿	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	折りたたみベッド
談合坂SA(上り)	♿	○	×	○	○	正面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	フィッティングボード
談合坂SA(下り)	♿	○	×	○	○	前上方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	和式 フィッティングボード
山梨トヨペット (竜王店)	♿	○	○	×	×	左	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ペーパータオル、ベ ビーベッド、フィッ ティングボード
アピタ石和店	♿	○	×	×	○	正面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	便座クリーナー

施設名：山梨県立中央病院



調査状況	データ
調査時刻	14:45
天候	くもり
窓	有り
設置階	1階
照度(Lux)	入り口付近: 22Lux 洗淨台付近: 22Lux 便座付近: 26Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 292 洗淨台付近: 146 便座付近: 178



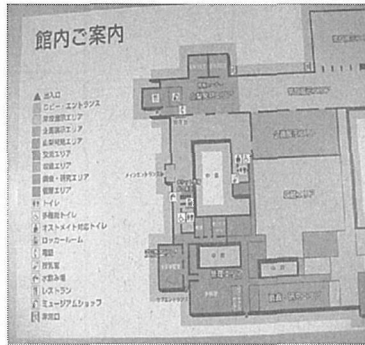
オストメイトの意見

- ・ 便座の隣にハンドシャワーがあれば、より使いやすい。
- ・ 便座はもう少し広い方がいい。

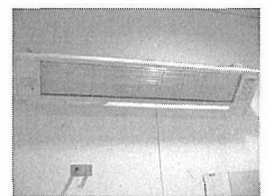
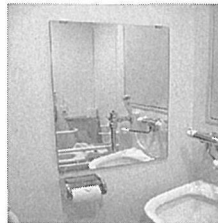
設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×380(横×縦)、レバー式(洗淨形式)	水勢やや弱い
ハンドシャワー	1	前方左	
フック	3	1700、1450、1300(床からの高さ)	傾斜あり、腹部が見える 簡易開閉できる蓋あり センサーで洗淨
カウンター・飾り棚	1	1200(床からの高さ)、1060×360(広さ)	
鏡	1	800(床からの高さ)、1000×500(縦×横)	
汚物入れ	1	130×300×300(縦×横×高さ)	
便座 (内径)		280×190×400(縦×横×高さ)	

施設名：山梨県立博物館



調査状況	データ
調査時刻	15:45
天候	晴れ
窓設置階	なし 1階
照度(Lux)	入り口付近:210Lux 洗浄台付近:257Lux 便座付近:315Lux
臭気指数(0-2000)	入り口付近:39 洗浄台付近:44 便座付近:42



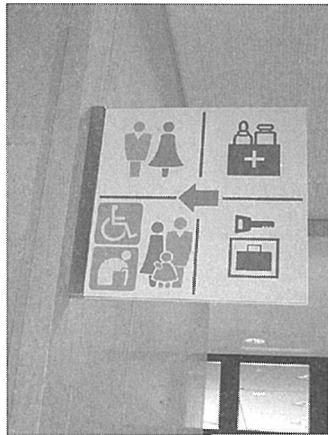
【オストメイトの意見】

ハンドシャワーのホースが長ければ、便器に座ったまま使用できる。
フックが同じ高さにあるため、ずれて設置されているといい。
装具交換時に使用できる専用のカウンターがない。
鏡の位置がもう少し低いといい。

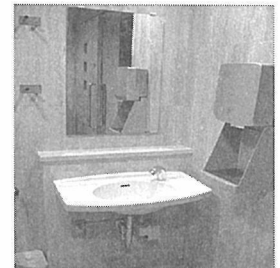
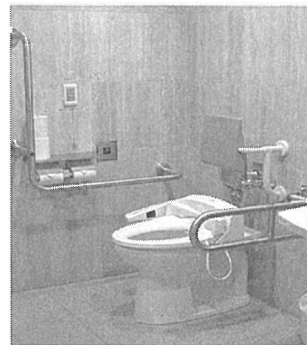
設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×350(横×縦)、レバー式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	右	水勢やや弱い
フック	2	1700、1300(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	800(床からの高さ)、350×120(広さ)	便座から手が届く
鏡	1	900(床からの高さ)、750×510(縦×横)	傾斜なし、腹部が見える
汚物入れ	1	200×200×230(縦×横×高さ)	蓋あり
便座(内径)		300×190×450(縦×横×高さ)	センサーで洗浄

施設名：山梨県立美術館



調査状況	データ
調査時刻	10:10
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近:41Lux 洗浄台付近:24Lux 便座付近:17Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近:139 洗浄台付近:136 便座付近:137



オストメイトの意見

- ・トイレの表示がなく、場所が分かりにくい。
- ・ハンドシャワーのホースが長すぎ、使いづらい。
- ・汚物入れボックスが小さく使いにくい。ペダル式がよい。
- ・フックが縦列ではなく、またもう少し低い位置にあるといい。
- ・手をかざさないと水が流れない自動式になっているので不便である。またどこを押せばよいか説明がない。
- ・ハンドシャワーの位置が高すぎる。
- ・カウンターが高い位置にある。

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×370(横×縦)、レバー式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	正面	設置位置やや高め
フック	3	1700、1300、990(床からの高さ)、	
カウンター・飾り棚	1	1190(床からの高さ)、210×950(広さ)	
鏡	1	1000(床からの高さ)、800×500(縦×横)	腹部が見えない
汚物入れ	1	190.5×190.5×190(縦×横×高さ)	蓋あり
便座(内径)		300×200×470(縦×横×高さ)	センサーで洗浄 折りたたみベッドあり

施設名：県民文化ホール

調査状況	データ
調査時刻	11:00
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度 (Lux)	入り口付近: 17Lux 洗浄台付近: 14Lux 便座付近: 17Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 139 洗浄台付近: 136 便座付近: 137










オストメイトの意見

- ・もう少しトイレ内が明るいといよい。
- ・鏡が傾斜しているので見やすい。
- ・鏡の下にカウンターが設置されているが（可動式）、便座の横にあるといい。

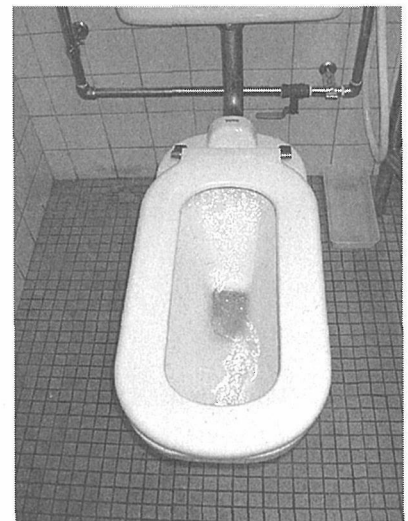
設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×380(横×縦)、ボタン式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	左	設置位置やや高め
フック	1	1070(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	4	(1280(床からの高さ)、1100×270(広さ))、(980、800×200)、(680、1000×200)、(570、510×300)	
鏡	1	1130(床からの高さ)、600×480(縦×横)	傾斜あり、腹部見える
汚物入れ	1	180×180×200(縦×横×高さ)	蓋あり
便座 (内径)		300×200×440(縦×横×高さ)	センサーで洗浄

施設名：甲府市役所



調査状況	データ
調査時刻	15:45
天候	くもり
窓	無し
設置階	1階
照度(Lux)	入り口付近: 9Lux 洗淨台付近: 11Lux 便座付近: 11Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 洗淨台付近: 便座付近:



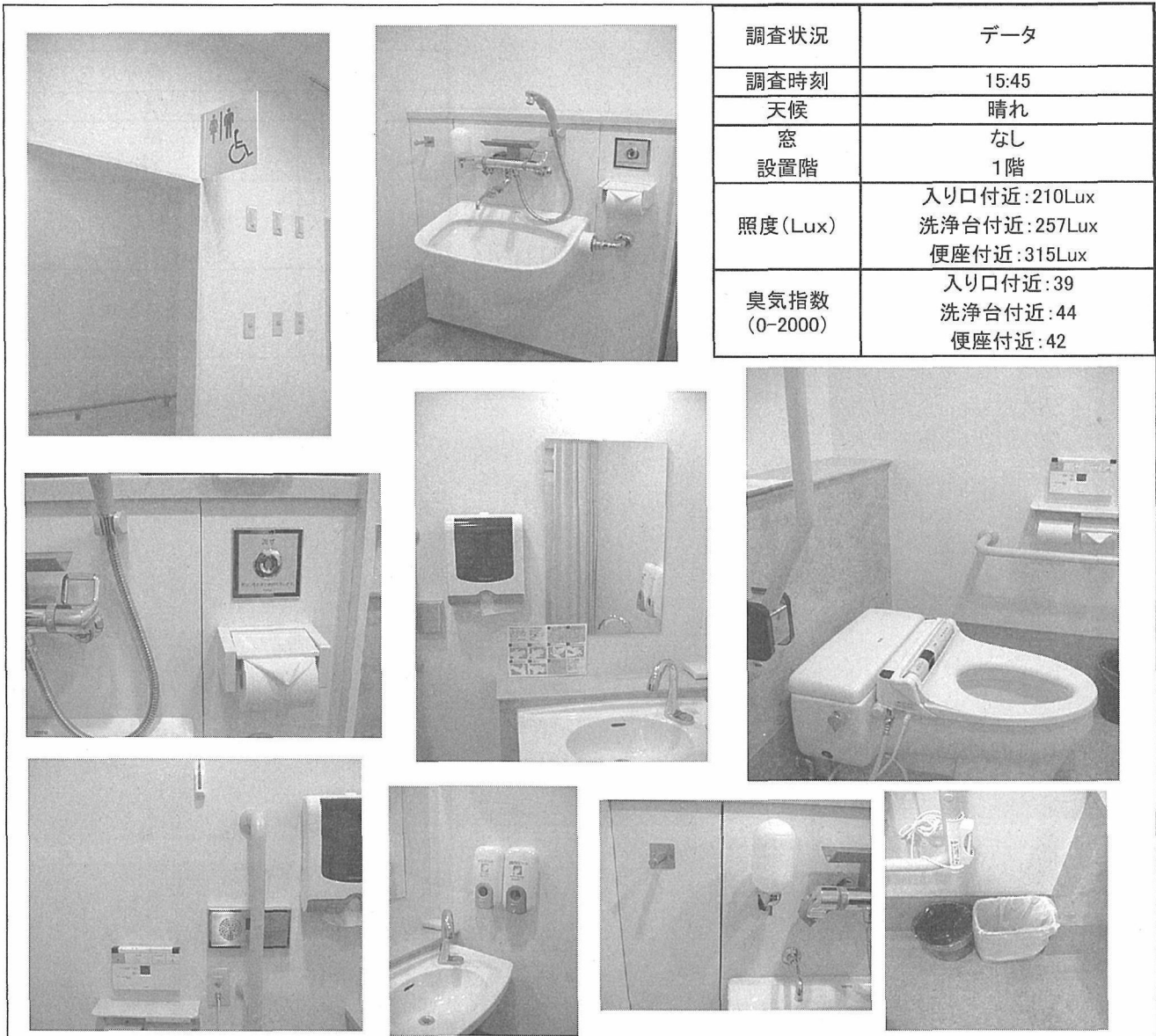
オストメイトの意見

- ・鏡、カウンターの設置がないことから、設置を要望する。
- ・暗い。使い勝手が悪い。

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	—		
ハンドシャワー	1	左	
フック	4	1750(床からの高さ)×3、1280×1	設置位置やや高め
カウンター・飾り棚	—		
鏡	1	600×450(縦×横)	腹部見えない
汚物入れ	3	(180×180×200)(縦×横×高さ)	1つは簡易開閉できる蓋付き
便座(内径)		390×150×350(縦×横×高さ)	レバー式

施設名：医療法人康麗会 笛吹中央病院



調査状況	データ
調査時刻	15:45
天候	晴れ
窓 設置階	なし 1階
照度(Lux)	入り口付近:210Lux 洗淨台付近:257Lux 便座付近:315Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近:39 洗淨台付近:44 便座付近:42

オストメイトの意見

- ・洋服をかけるフックが欲しい。
- ・汚物入れボックスは便器のそばに欲しい。また蓋付きがいい。
- ・便座は狭く、座ったまま便の廃棄ができない。

施設側からの情報

- ・現在、オストメイトトイレの表示がないが、今後、表示していく方向である。

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×370(横×縦)、タッチスイッチ式(洗淨形式)	
ハンドシャワー	1	右	
フック	2	1050(床からの高さ)×2	
カウンター・飾り棚	2	(1190(床からの高さ)、1080×270(広さ))、(1000、1200×230)	
鏡	1	1000(床からの高さ)、750×450(縦×横)	
汚物入れ	2	(330×170×260)、(220×220×300)(縦×横×高さ)	洗淨台と便座背側にあり 傾斜がなく、やや高め 蓋なし
便座(内径)		300×190×450(縦×横×高さ)	センサーで洗淨

施設名：上野原市役所（もみじホール）




調査状況	データ
調査時刻	10:45
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近: 300Lux 便座付近: 270Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 90 便座付近: 96


設備実測値


設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、340×270(横×縦)	手洗い場兼用式
ハンドシャワー	—		
フック	—		
カウンター・飾り棚	—		
鏡	1	950(床からの高さ)、600×450(縦×横)	傾斜がなく、腹部見えない
汚物入れ	1	110×130×170(縦×横×高さ)	
便座(内径)		310.5×200×450(縦×横×高さ)	センサーで洗浄


施設名：都留市立病院

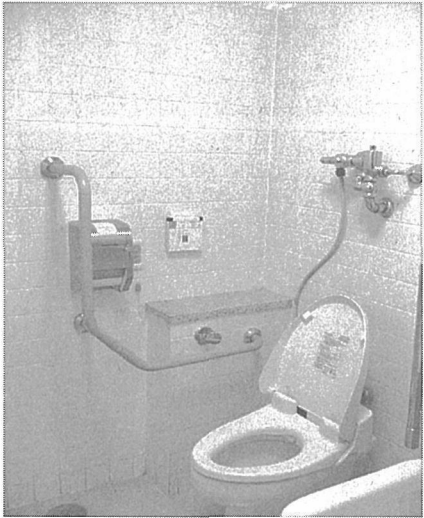
調査状況	データ
調査時刻	13:30
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近: 518Lux 洗浄台付近: 523Lux 便座付近: 523Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 22 洗浄台付近: 26 便座付近: 24







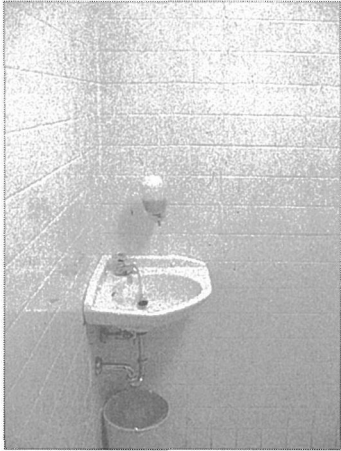












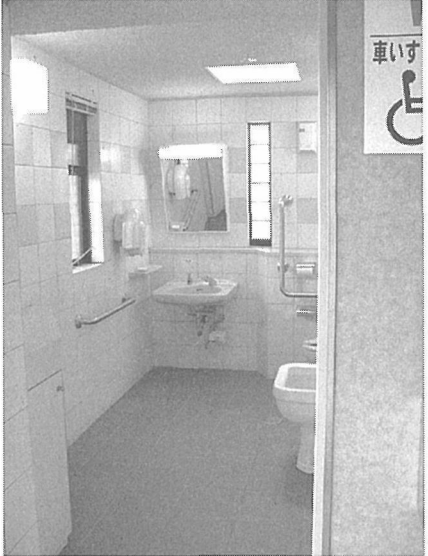








設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、500×500(横×縦)	
ハンドシャワー フック	1	左	
カウンター・飾り棚 鏡	2	(800(床からの高さ)、200×540(広さ))、(1500、160×650)	1つは便座から手が届く 傾斜あり、腹部見える 蓋なし
汚物入れ 便座(内径)	1	230×230×300(縦×横×高さ) 310×200×450(縦×横×高さ)	

施設名：都留市役所

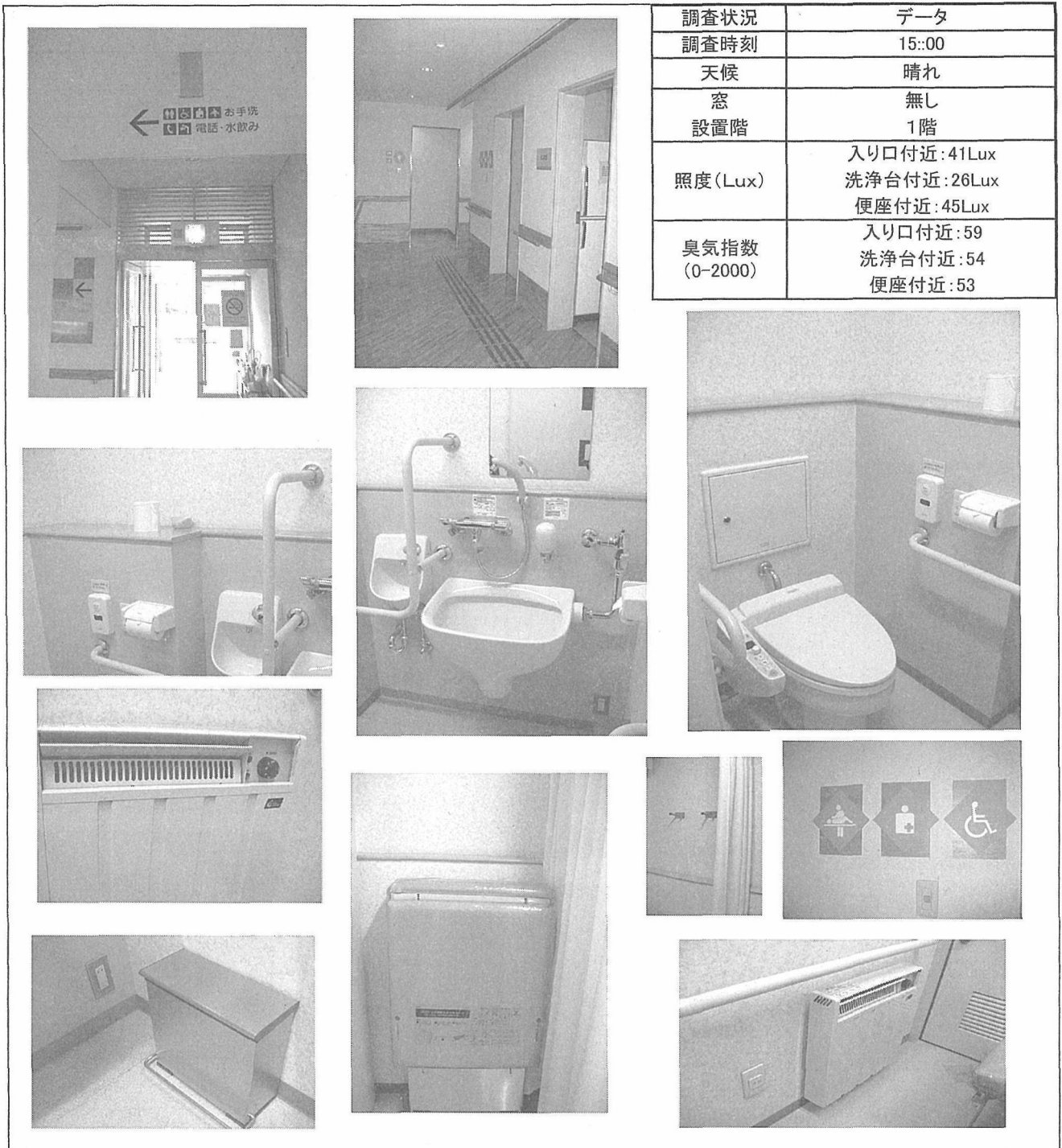
調査状況	データ
調査時刻	14:05
天候	晴れ
窓 設置階	有り 1階
照度(Lux)	入り口付近: 7Lux 洗浄台付近: 32Lux 便座付近: 42Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 51 洗浄台付近: 53 便座付近: 55

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	500(高さ)、500×500(横×縦)、ボタン式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	左	
フック	—		
カウンター・飾り棚	2	(900(床からの高さ)、500~1150×450(広さ))、(1000、1000×300)	
鏡	1	1130(床からの高さ)、500×480(縦×横)	傾斜あり、腹部見える
汚物入れ	—		
便座(内径)	—	300×200×450(縦×横×高さ)	

施設名：都留いきいきプラザ



調査状況	データ
調査時刻	15:00
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近: 41Lux 洗淨台付近: 26Lux 便座付近: 45Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 59 洗淨台付近: 54 便座付近: 53

設備実測値

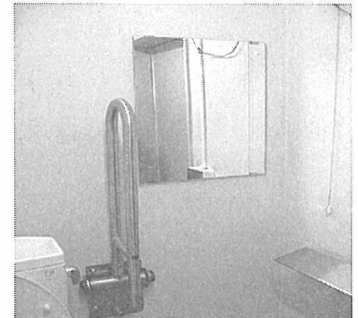
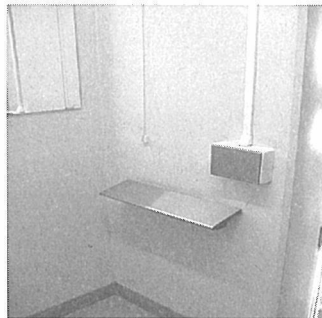
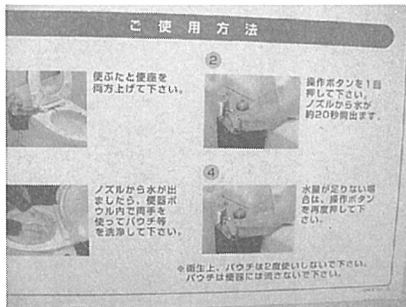
設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×380(横×縦)	
ハンドシャワー フック	1	正面	
カウンター・飾り棚	3	1700(床からの高さ)×3	
鏡	2	(1200(床からの高さ)、1200×110(広さ))、(1200、900×310)	
汚物入れ	2	(740(床からの高さ)、910×450(縦×横))、(1270、900×400)	1つは腹部が見える
便座 (内径)	2	(310×130×300)、(140×140×200)(縦×横×高さ)	1つは簡易開閉式蓋あり
		300×200×440(縦×横×高さ)	

折りたたみベッドあり

施設名：JR石和温泉駅



調査状況	データ
調査時刻	15:00
天候	晴れ
窓	無し
設置階	1階
照度(Lux)	入り口付近: 86Lux 便座付近: 200Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 5 便座付近: 22



オストメイトの意見

- ・パウチ・しびん洗浄のボタンがついているが、廃棄するパウチを洗浄するために使用するのではないか。腹部を洗うことはできない。

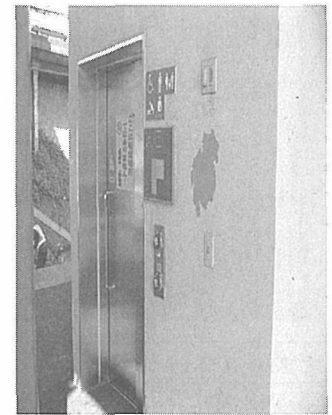
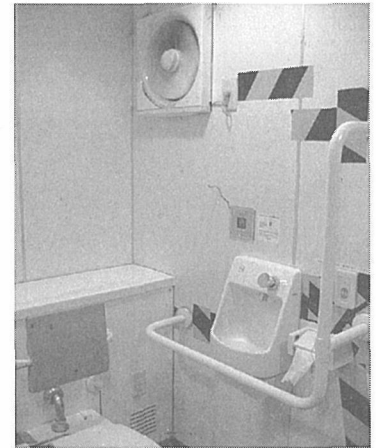
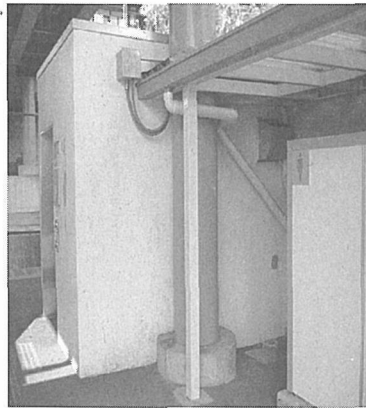
設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	—		
ハンドシャワー	—		
フック	2	1750(床からの高さ)、1350(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	750(床からの高さ)、500×130(広さ)	
鏡	1	1100(床からの高さ)、600×450(縦×横)	
汚物入れ	1	320×220×300(縦×横×高さ)	蓋なし
便座 (内径)		300×200×410(縦×横×高さ)	パウチ洗浄機能付き便座

施設名：JR上野原駅



調査状況	データ
調査時刻	11:15
天候	晴れ
窓	無し
設置階	1階
照度(Lux)	入り口付近:251Lux 洗浄台付近:208Lux 便座付近:140Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近:2 洗浄台付近:2 便座付近:7

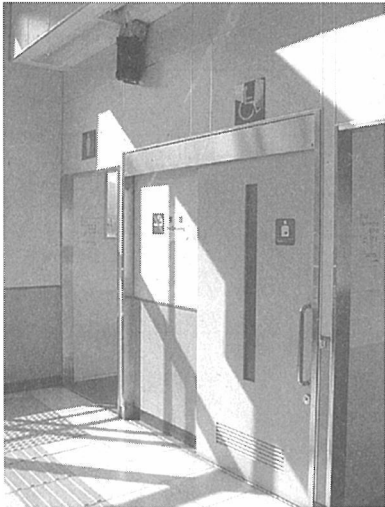





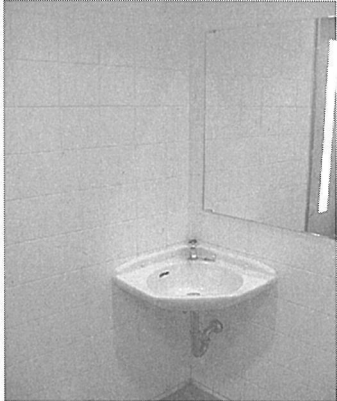


設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	750(高さ)、340×270(横×縦)	手洗い場兼用
ハンドシャワー	—		
フック	1	1800(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	850(床からの高さ)、1930×300(広さ)	
鏡	1	770(床からの高さ)、1000×450(縦×横)	
汚物入れ	1	160×160×300(縦×横×高さ)	
便座(内径)	1	290×200×400(縦×横×高さ)	便器の背側に1つあり 傾斜なし、腹部見える 蓋が半分開いているタイプ パウチ洗浄機能付き便座

施設名： J R 猿橋駅

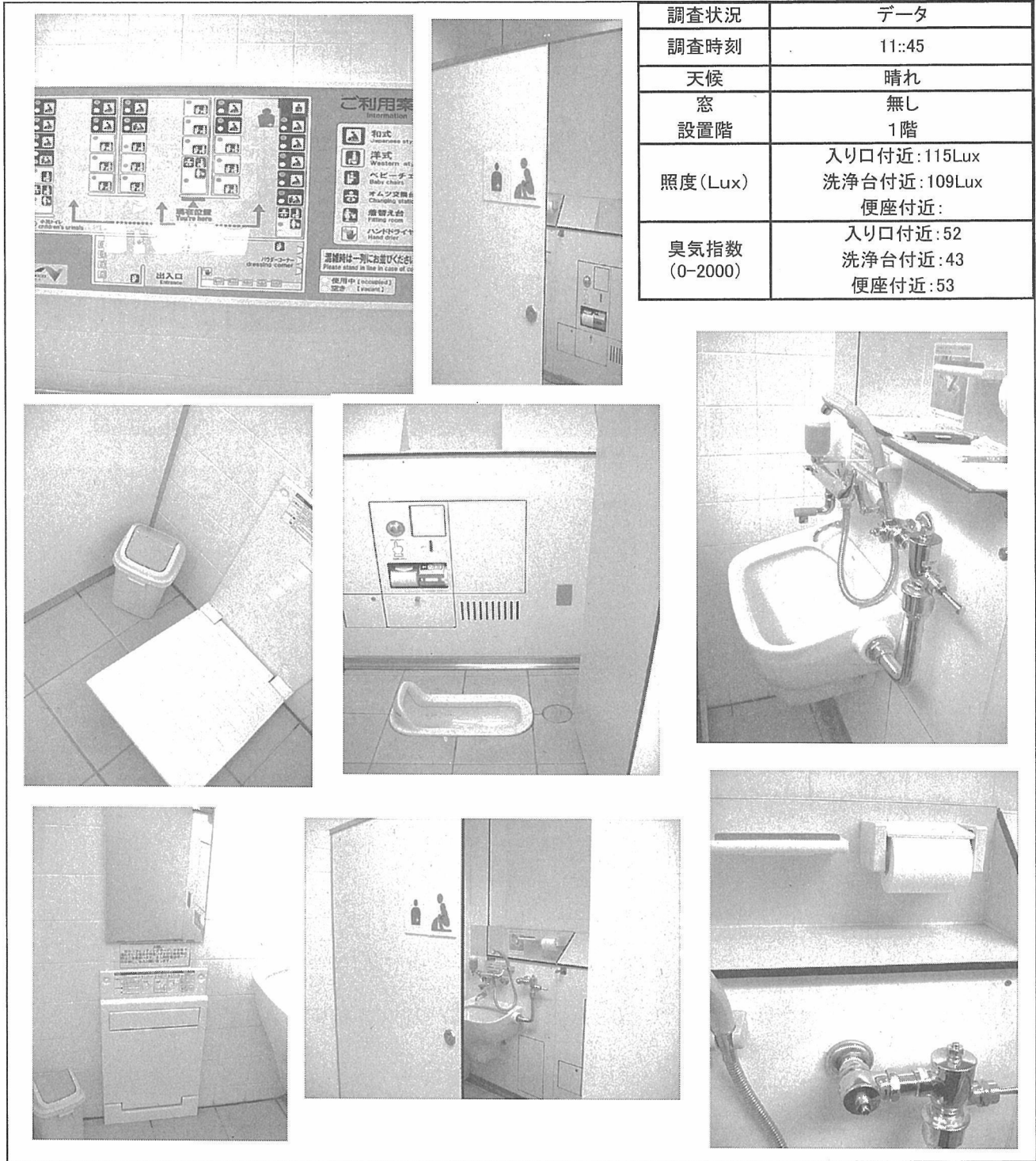
調査状況	データ
調査時刻	12::50
天候	晴れ
窓 設置階	無し 2階
照度 (Lux)	入り口付近: 38Lux 便座付近: 28Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 0 便座付近: 5

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	—		
ハンドシャワー	—		
フック	2	1850、930(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	—		
鏡	1	940(床からの高さ)、760×610(縦×横)	傾斜なし、腹部見える
汚物入れ 便座 (内径)	—	310×200×400(縦×横×高さ)	パウチ洗浄機能付き便座 足元に荷物置き場あり

施設名：談合坂SA（下り東）女性用




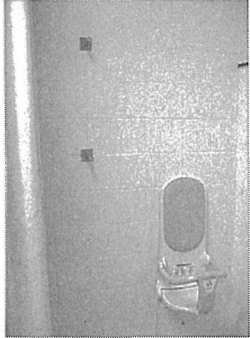


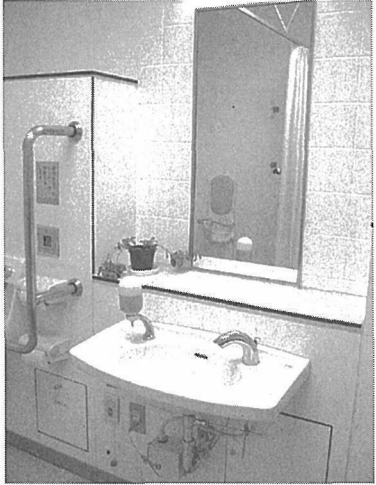
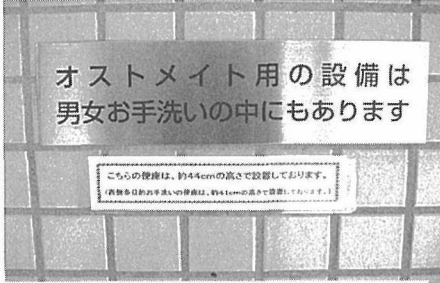
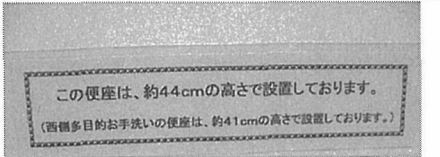


調査状況	データ
調査時刻	11:45
天候	晴れ
窓	無し
設置階	1階
照度(Lux)	入り口付近:115Lux 洗浄台付近:109Lux 便座付近:
臭気指数 (0-2000)	入り口付近:52 洗浄台付近:43 便座付近:53

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	720(高さ)、550×370(横×縦)、レバー式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	前方上	
フック	3	1700、1630、1100(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	1150(床からの高さ)、700×210(広さ)	
鏡	1	760(床からの高さ)、1000×350(縦×横)	
汚物入れ	1	200×200×250(縦×横×高さ)	
便座(内径)		480×190	傾斜なし、腹部見える 簡易開閉式の蓋あり ボタン式(和式)

施設名：談合坂SA（下り東）多目的トイレ

調査状況	データ
調査時刻	12:00
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近: 69Lux 洗淨台付近: 36Lux 便座付近: 60Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 0 洗淨台付近: 0 便座付近: 0

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	700(高さ)、550×380(横×縦)、レバー式(洗淨形式)	洗淨台に蛇口あり
ハンドシャワー	—		
フック	2	1700、1250(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	2	(1210(床からの高さ)、1370×280(広さ))(9100、1000×280)	
鏡	1	910(床からの高さ)	傾斜なし、腹部見えない
汚物入れ	—		
便座(内径)	—	300×200×450(縦×横×高さ)	センサー式

施設名：談合坂SA（下り西）



施設名：談合坂SA（上り東）女性用・障害者用

調査状況	データ
調査時刻	9::55
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近:220Lux 洗浄台付近:220Lux 便座付近:220Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近:0 洗浄台付近:0 便座付近:1










設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	680(高さ)、550×390(横×縦)、レバー式(洗浄形式)	傾斜なし、腹部見える簡易開閉式の蓋あり センサー式
ハンドシャワー	1	正面	
フック	1	1100(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	1200(床からの高さ)、1550×220(広さ)	
鏡	1	750(床からの高さ)、1000×350(縦×横)	
汚物入れ	2	200×200×250、 × × (縦×横×高さ)	
便座(内径)		300×200×400(縦×横×高さ)	

施設名：談合坂SA（上り東）女性用

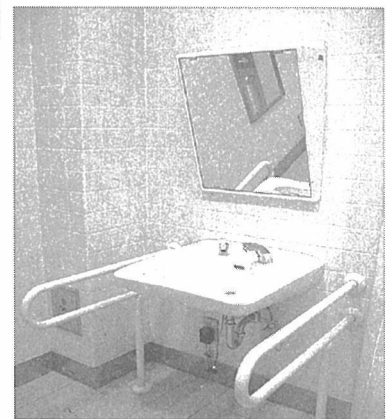


調査状況	データ
調査時刻	9:55
天候	晴れ
窓	無し
設置階	1階
照度(Lux)	入り口付近: 220Lux 洗浄台付近: 220Lux 便座付近: 220Lux
臭気指数(0-2000)	入り口付近: 0 洗浄台付近: 0 便座付近: 1

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	680(高さ)、550×390(横×縦)、レバー式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	正面	
フック	1	1100(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	1200(床からの高さ)、1550×220(広さ)	
鏡	1	750(床からの高さ)、1000×350(縦×横)	
汚物入れ	2	200×200×250、 × × (縦×横×高さ)	
便座(内径)		300×200×400(縦×横×高さ)	傾斜なし、腹部見える 簡易開閉式の蓋あり センサー式

施設名：談合坂SA（上り西）



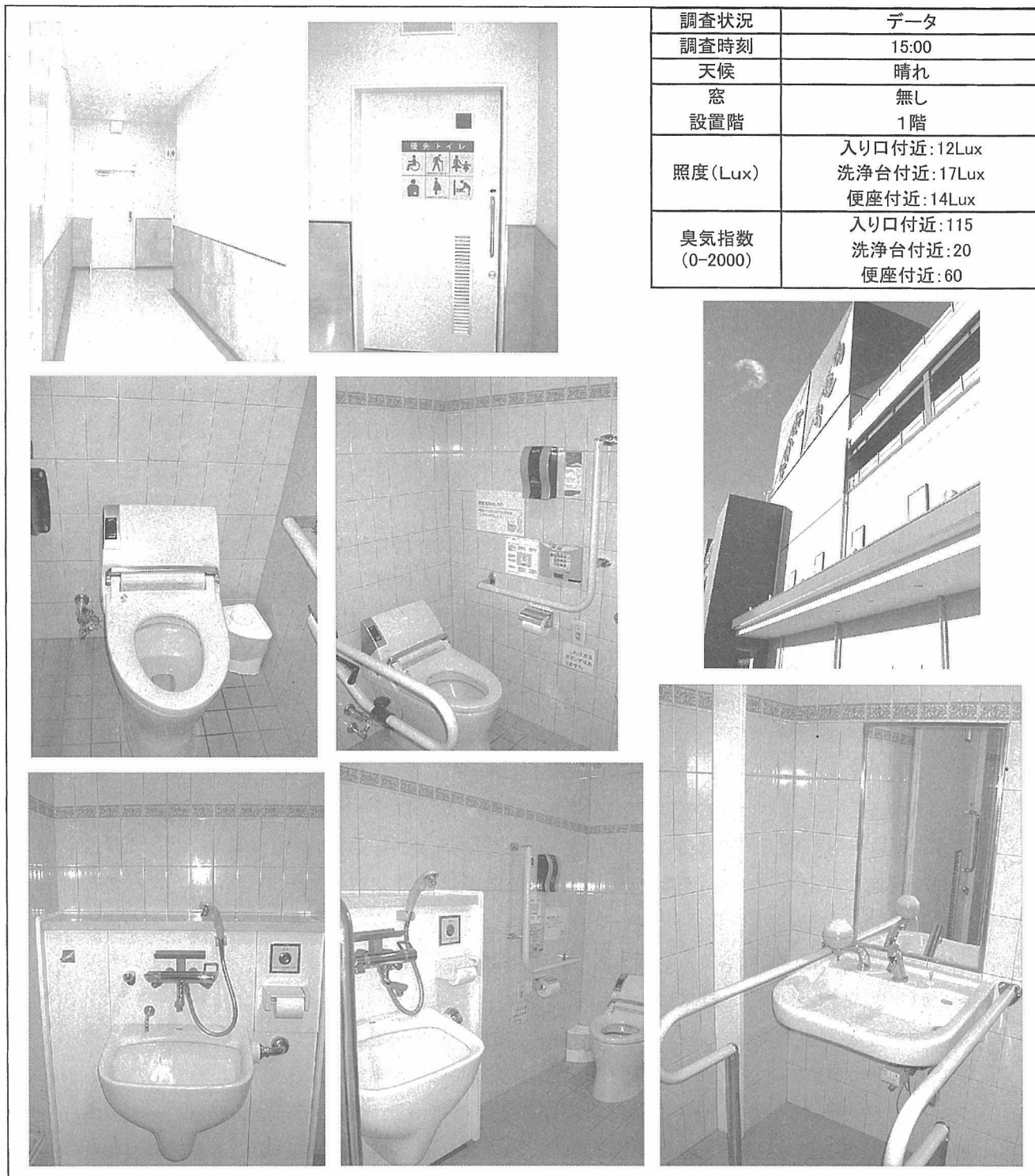
施設名：山梨トヨペット（竜王店）

調査状況	データ
調査時刻	13:45
天候	曇り
窓 設置階	有り 1階
照度(Lux)	入り口付近: 70Lux 洗浄台付近: 70Lux 便座付近: 75Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 26 洗浄台付近: 40 便座付近: 38

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	—		
ハンドシャワー	1	左側	
フック	2	いずれも1700(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	—		
鏡	1	800(床からの高さ)、1000×450(縦×横)	傾斜なし、腹部みえる
汚物入れ	2	①400×200×108 ②130×260×300(縦×横×高さ)	
便座 (内径)		300×190	ボタン式

施設名：アピタ石和店



調査状況	データ
調査時刻	15:00
天候	晴れ
窓 設置階	無し 1階
照度(Lux)	入り口付近: 12Lux 洗浄台付近: 17Lux 便座付近: 14Lux
臭気指数 (0-2000)	入り口付近: 115 洗浄台付近: 20 便座付近: 60

設備実測値

設備	設置数	サイズ、他	備考
汚物流し台	1	680(床からの高さ)、470×280(横×縦)、ボタン式(洗浄形式)	
ハンドシャワー	1	正面	温水、非シャワー
フック	1	1050(床からの高さ)	
カウンター・飾り棚	1	1190(床からの高さ)、1100×270(広さ)	
鏡	1	800(床からの高さ)、800×500(縦×横)	傾斜なし、腹部みえる
汚物入れ	2	①300×200×600 ②200×200×200(縦×横×高さ)	
便座(内径)		300×200	センサー

6) オストメイト対応トイレの設備・備品等に関するオストメイトの主観的評価

オストメイトの主観的評価は、調査対象施設のうち7施設（県立中央病院、県立美術館、県民文化ホール、県立博物館、甲府市役所、JR 石和温泉駅、笛吹中央病院）を対象に実施した(表 14)。

(1) トイレ全体

調査結果から、トイレの広さや明るさ、清潔感等の環境について、ほとんどが「ややそう思う」「そう思う」と回答していた。設置しているトイレの場所について、トイレの案内表示がロビーや通路に掲示されていない施設は、わかりにくいと回答していた。そのうちの1施設は、トイレが敷地の別棟に設置されており、場所がわかりにくく入りにくさがあった。

(2) 設備・備品

現地調査を行った施設のトイレは全体的に清潔であり、不快な臭いを感じていなかった。また装具交換などの処置を行うための広さは十分に保たれ、5施設では、トイレ内の明るさも十分であった。3施設では、トイレの場所が、オストメイトにとってわかりにくいと回答していた。

トイレ内に設置されている汚物流し台は、位置・高さ共に使いやすく、また清潔であるが、2施設のハンドシャワーの位置・高さを使いにくさを感じていた。フックについては、5施設が使いやすい位置や高さとなっていた。カウンターは、2施設が使いやすい位置や高さであり、広さも十分であった。4施設のカウンターは、手が届かない高さや位置にあることで、装具交換の際に利用できないものであった。鏡が使いやすい位置や高さ、角度に設置されていた施設は3施設であった。調査対象となった7施設のうち1施設は、鏡は設置されているものの腹部を見るためには十分ではなかった。また2施設は、鏡は設置されているが整容を目的としたものであった。汚物入れボックスは、すべての施設に設置されているが、4施設は汚物入れボックスの大きさが十分であったが、2施設の汚物入れボックスは装具交換時には使いにくい配置であった。便座付近に設置されている手すりは、すべての施設において位置・高さ共に使いやすいと回答していた。便座が、使いやすい高さや広さとなっていたのは7施設のうち3施設で、他の3施設では高さはよいが、広さが使いやすいとはいえないと回答していた。

現地調査に同行したオストメイトから、全体的に「座ったままで処理をする場合、便座が狭く処理が困難であるため、もう少し広い便座がいい」、「本当は座ったままで、ハンドシャワーが使えるといい。そのためには便座のすぐ横にハンドシャワーがあればいい」、「汚物入れボックスは、三角の形状や蓋が無いものではなく、ペダル式で幅広タイプが使いやすい。処理したものをすてられるように、そばに置いてあるといい」、「背が高い人ならいいけど、フックは上着がかけられて、バックもかけられるよう2つ以上あればいいし、使いやすい高さでないと大変だ」、「カウンターは自由に動かせるようなワゴンであれば、自分が使いやすい位置に移動できる。壁にとりつけてある棚だと、高かったり、遠かったりで手が届かない」という意見があった。

表14 オストメイトによる主観的評価

主観的評価項目		調査施設							
		県民文化ホール	県立美術館	笛吹中央病院	JR石和温泉駅	県立博物館	甲府市役所	県立中央病院	
全体について		トイレは広いと思うか	◎	◎	◎	△	◎	○	◎
		室内の明るさは十分だと思うか	△	◎	◎	△	◎	○	◎
		全体的に清潔だと思うか	◎	◎	◎	△	◎	○	○
		床はきれいだと思うか	◎	◎	◎	○	◎	○	○
		不快な臭いがなく快適だと思うか	◎	◎	◎	○	◎	○	○
		トイレは入りやすいと思うか	◎	◎	◎	○	◎	△	○
		トイレはわかりやすい場所にあるか	◎	×	◎	△	○	△	○
設備・備品について	汚物流し台	汚物流し台の位置や高さは使いやすいと思	◎	◎	◎	△	◎	△	—
		汚物流し台は清潔だと思うか	◎	◎	◎	△	◎	△	◎
	ハンドシャワー	ハンドシャワーの位置や高さは使いやすいか	◎	×	◎	△	◎	×	○
		シャワーの水の出は良いと思うか	◎	—	◎	△	—	△	◎
	フック	フックの位置や高さは使いやすいか	◎	×	—	◎	○	○	◎
	カウンター	カウンターの位置や高さは使いやすいか	○	×	△	×	△	△	◎
		カウンターの広さは十分か	◎	×	△	◎	×	△	◎
	鏡	鏡の位置や高さは使いやすいか	◎	—	△	×	○	—	◎
		鏡の角度は使いやすいか	◎	—	○	×	◎	—	◎
	汚物入れボックス	汚物入れボックスは使いやすい位置に配置さ	◎	×	△	○	○	○	○
		汚物入れボックスの大きさは十分か	×	×	○	○	△	○	○
		汚物入れボックスは清潔だと思うか	◎	◎	○	×	◎	○	◎
	手すり	手すりの位置は使いやすいか	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
		手すりの高さは使いやすいか	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
便座	便座は使いやすい高さか	◎	○	○	◎	◎	×	○	
	便座は使いやすい広さか	×	◎	△	◎	△	×	○	

◎そう思う ○ややそう思う △あまりそう思わない ×そう思わない - 無回答

3. まとめ

現在、オストメイト対応トイレは全国的に普及されつつあり、公共交通機関の構内、社会福祉施設、官公庁施設、デパート、スーパーマーケット等、美術館・図書館等、道の駅、空港、高速道路パーキングエリア、病院などに設置が進められている。

今回、山梨県におけるオストメイトのトイレ利用に関するニーズおよび山梨県内の公共施設ならびに利用度の高い施設でのオストメイト対応トイレの設置状況の実態を明らかにすることを目的に調査を行った。その結果、調査した範囲では、設置されていたのは16施設18箇所であり、またオストメイト専用トイレの設置はなく、全ての調査施設がオストメイト対応トイレであり、設置施設は公立の病院や役所関係、美術館や博物館など、JR駅および高速道路サービスエリアなどが主であった(図1)。

しかし、すでに本調査後、3月下旬にJR竜王駅には開設され、また山梨県福祉保健部障害福祉課からの情報では、平成20年度には整備事業として県立福祉プラザ、県立考古博物館ならびに中央市玉穂総合会館に設置が予定されている。

地域別では甲府市、都留市に集中し、峡北地域ならびに峡南地域には設置されていない現状が明らかになった。オストメイトが外出する際に必要と考えていた設備の優先順位では流し台、作業台、廃棄ボックスが高かった。さらにオストメイト自身や電話での聞き取り調査において、オストメイトマーク(案内用図記号)やオストメイト対応(専用)トイレの認知度は低い結果であった。

以上、本調査結果から、山梨県においては、他県に比し、オストメイト対応トイレの設置数は少ない現状であることが明らかになり、オストメイトならびにオストメイト対応トイレの認知度は未だ低い状況であることがわかった。

オストメイト対応トイレの普及はバリアフリーからみれば重要課題であるが、専用の設備・備品一式の設置に約50万円の費用が必要になり、国内の全ての施設がオストメイトに必要な機能をもつトイレに整備することは困難な状況にあると言えよう。しかし、オストメイトにとって排便処理は日常生活における深刻な問題である。

したがって本調査結果から得られた現状についてオストメイトの患者会や関係機関に情報発信するとともに、多くのオストメイトや関係機関が利用できるパンフレット等を作成し、オストメイトの社会参加の一助に繋げていきたい。またオストメイト対応トイレの整備の有無にかかわらず、本来、医療従事者はオストメイトが外出する場合、どのようなトイレであっても安心して排泄処理が行える方法や、災害などによる緊急対応の備えについて具体的に指導しなければならない必要性が示唆された。

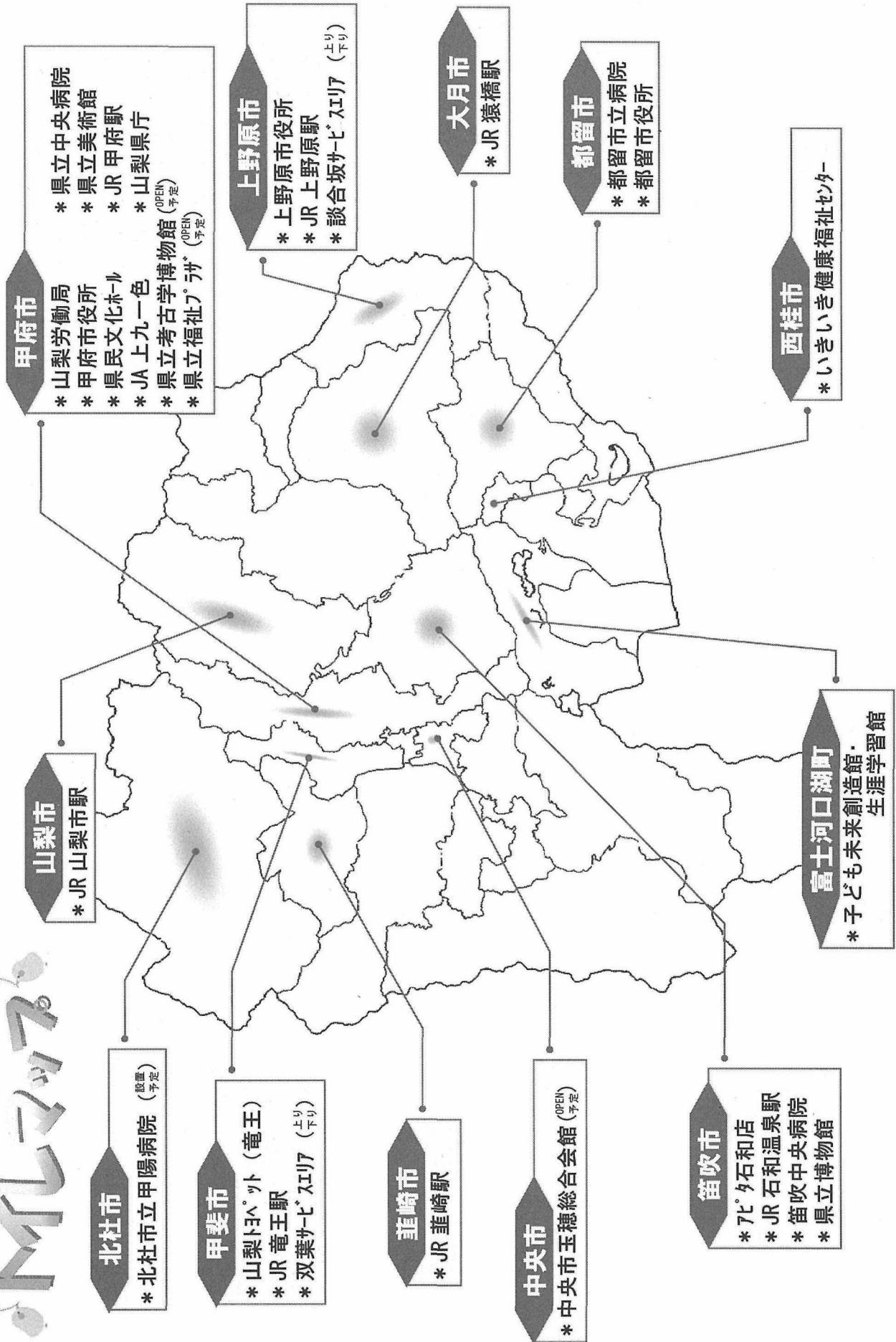


図1 オストメイトトイレマップ (平成20年3月現在)

V. おわりに

本研究では、オストメイトの社会的な認知が未だ十分とは言えない状況であること、県内のオストメイト対応トイレの整備の立ち遅れている現状が明らかになった。

本研究は当事者であるオストメイトが研究に参加する主体の取り組みから得られた結果でもあり、これらの結果は、今後、オストメイトの社会参加における相談の場や、医療機関内の教育指導に活用できることの示唆を得た。今後は本研究結果を関係機関に発信しオストメイト対応トイレ設置の際の資料にも活用して頂くとともに、災害時のオストメイト避難支援の対応状況の把握や設置状況の継続的な把握に努め、より多くのオストメイトが安心して生活できる支援に繋げていきたい。

謝辞

本研究にご協力を頂きました日本オストミー協会山梨県支部の会員の皆様、施設関係者の皆様、ならびに山梨県福祉保健部障害福祉課の皆様にご心より感謝申し上げます。

文献

- ・アロマサイエンス シリーズ 21(2003),におい物質の特性と分析・評価.フレグランスジャーナル社,110-111.
- ・光岡 直己(2001):オストメイト対応トイレの計画,総合設備コンサルタント技術年報,32-36.
- ・田中直人,老田智美(2005):オストメイトの公共トイレ利用実態および意識に関する研究,日本建築学会計画系論文集,17-23.
- ・佐藤福美,阪本恵子,田村典子(2007):オストメイトが旅行をする際の備え,人間と科学,県立広島大学保健福祉学部誌,133-143.
- ・山梨県福祉保健部障害福祉課(2007):オストメイト(人工肛門・人工膀胱造設者)対応トイレ設備緊急整備事業.
- ・板倉朋世,光田恵,稲垣卓造(2006):病院内のにおいに対する看護職員の意識に関するアンケート調査,J.Japan Association on Odor Enviroment,37(6),437-447.
- ・(社)日本オストミー協会誌(2006):サービスエリアに「オストメイト対応トイレ」の整備完了
- ・山下亨(2005):阪神・淡路大震災から10年 オストメイトたちの阪神・淡路大震災—震災時のトイレ困窮とその対応策の提言—,近代消防,43(3),110-115.
- ・大阪高速鉄道(2004):バリアフリーの駅へ,モノレール,107,49-52.
- ・URL:<http://www.joa-net.org/> 『日本オストミー協会』
- ・URL:<http://www.ostomate.jp/> 『オストメイト JP』
- ・URL:<http://m.ostomate.jp/> 『携帯オストメイト JP』

オストメイトのトイレ使用に関する質問紙調査票

このアンケートは、オストメイトの方々にとって使いやすい公共トイレを作る基礎となるアンケートです。そのために皆様の忌憚ないご意見を伺いたくよろしくお願い申し上げます。なお、このアンケートは無記名ですので、皆様の個人的な情報が外に漏れることはありません、また結果をこの調査以外に用いることはありませんので、ご安心ください。

以下の質問について、あてはまるところに○をつけていただくか、自由にご意見をおかきください。よろしくお願いいたします。

調査者の氏名

1. 性別

・男性 ・女性

2. 年齢

・30代以下 ・40代 ・50代 ・60代・70代 ・80代 ・90歳以上

3. ストーマの種類

・人工肛門 ・人工膀胱 ・両方

4. どのような装具をお使いですか？

・ワンピース ・ツーピース ・両方使い分けている ・つけていない ・その他

5. 交換間隔はだいたいどのくらいですか？

・毎日 ・2日に1回 ・3日に1回 ・4日に1回 ・5日に1回 ・6日に1回 ・それ以上

6. ストーマをお造りになってからどのくらいですか？

・1年未満 ・1～3年未満 ・3～5年未満 ・5～10年未満 ・10年以上

7. 外出の頻度は一週間にだいたいどのくらいですか

・1回以下 ・1～2回 ・2～3回 ・3～4回 ・5～6回 ・7回以上

8. 外出時に交換のための予備の装具や処置のための道具を持参しますか？

・する ・しない



すると答えた方は、持参されるものに○を付けて下さい。

・装具 ・皮膚を洗う石けん・清浄剤 ・布 ・ティッシュペーパー ・ぬれティッシュ ・古い装具を
いれるナイロン袋 ・水を入れたボトル ・消臭スプレー ・はさみ ・その他()

8で「しない」と答えた方はどうしてですか

- ・短時間の外出のため
- ・外出中に交換なきよう調整している
- ・交換の必要性がない
- ・その他()

9. 右のマークはオストメイト専用のトイレのマークですがご存知でしたか？

- ・知っているが実際に使ったことはない
- ・知っているし実際に使ったことがある
- ・知らなかった



オストメイトマーク

10. 公共のトイレの以下の①～⑥の設備についてどのくらい必要性をお感じになりますか

①汚物流し台

- ・是非必要
- ・できれば必要
- ・必要とは思わない
- ご意見()

②ハンドシャワー

- ・是非必要
- ・できれば必要
- ・必要とは思わない
- ご意見()

③フック(洋服かけ)

- ・是非必要
- ・できれば必要
- ・必要とは思わない
- ご意見()

④荷物を置く棚や作業台

- ・是非必要
- ・できれば必要
- ・必要とは思わない
- ご意見()

⑤鏡

- ・是非必要
- ・できれば必要
- ・必要とは思わない
- ご意見()

⑥汚物入れボックス

- ・是非必要
- ・できれば必要
- ・必要とは思わない
- ご意見()

11. ①～⑥の他にぜひとも必要なものがあればお書きください。

12. 公共トイレで困ったこと、気をつかうことがあればお書きください

13. 公共のトイレに望むことがあればお書きください。

ご協力誠に有難うございました。

資料2

オストメイト対応トイレの設備・備品等に関するオストメイトの主観的評価票
月 日(曜日)

1. 調査場所 施設名	そう 思う	やや そう 思う	そ う あ ま り 思 わ な い	そ う 思 わ な い
2. 全体について				
・トイレは入りやすいと思いますか	1	2	3	4
・トイレは広いと思いますか	1	2	3	4
・室内の明るさは十分だと思いますか	1	2	3	4
・トイレはわかりやすい場所にありますか	1	2	3	4
・全体的に清潔だと思いますか	1	2	3	4
・床はきれいだと思いますか	1	2	3	4
・不快な臭いがなく快適だと思いますか	1	2	3	4
3. 設備・備品について				
1) 汚物流し台について				
・位置や高さは使いやすいと思いますか	1	2	3	4
・清潔だと思いますか	1	2	3	4
2) ハンドシャワーについて				
・位置や高さは使いやすいと思いますか	1	2	3	4
・シャワーの水の出は良いと思いますか	1	2	3	4
3) フックについて				
・位置や高さは使いやすいと思いますか	1	2	3	4
4) カウンターについて				
・位置や高さは使いやすいと思いますか	1	2	3	4
・広さは十分だと思いますか	1	2	3	4
5) 鏡について				
・位置や高さは使いやすいと思いますか	1	2	3	4
・角度は使いやすいと思いますか	1	2	3	4

	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
6) 汚物入れボックスについて				
・使いやすい位置に設置されていると思いますか	1	2	3	4
・大きさは十分だと思いますか	1	2	3	4
・清潔だと思いますか	1	2	3	4
7) 手すりについて				
・位置は使いやすいと思いますか	1	2	3	4
・高さは使いやすいと思いますか	1	2	3	4
8) 便座について				
・使いやすい高さだと思いますか	1	2	3	4
・使いやすい広さだと思いますか	1	2	3	4

